



B&G災害時相互支援体制構築 災害時に役立たい

1月23・24日の2日間、(公財) B & G 財団の「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築事業」の一環で、重機研修が町内の消防団員や分遣所職員などを対象に針尾公園周辺で開催され、20人が参加しました。

これは、災害発生時に自治体を越えた緊急対応を行うため重機や救助艇操作研修などの人材育成を目的としています。

研修に参加した柏木龍介さん(中央分団)は「重機操作を覚えられて良い研修となった。災害時には役立たい」と話しました。



長島中学校で鰯王を用いた学校料理教室 自分でさばく「鰯王」

1月23日、長島中学校(副田明彦校長・69人)で1年生を対象に「鰯王」を用いた学校料理教室が行われました。

生徒らが本町特産品である「鰯王」の調理をとおして地域の食文化を理解することを目的とし、東町漁業協同組合職員と養殖業者会会員が共同で講師を務めました。

小場凛花^{りんな}さんは「自分でさばいたブリは普段と違って美味しかった。さばくのは、最初は難しかったが、慣れてくると楽しかった。家でもさばいてみたい」と話しました。



子牛の初競り開催 牛肉の消費向上を図る

2月3日、出水中央家畜市場で子牛の初競りが開催され、鹿児島県農業協同組合の上宗光組合長が「近年の畜産業を取り巻く環境は厳しい状況にある。国に対して要望活動などで牛肉の消費向上を図る。引き続き皆さんの協力をいただきたい」とあいさつしました。

この日は、去勢牛183頭、雌牛130頭の計313頭が競りにかけられ、購入者が次々と落札しました。子牛の最高価格(税抜)は90万5千円、1頭当たりの平均価格は51万円でした。



第30回外国人による日本語スピーチコンテスト 人生は挑戦することが大切

1月25日、第30回外国人による日本語スピーチコンテストが黎明館講堂(鹿児島市)で行われ、本町でA-L-Tを務めるマルドナド・マリルズさん(城川内)が出場しました。

大会は、県内在住の外国人に意見を発表する機会の提供と多文化共生の社会づくりを目的としています。

マリルズさんは、町内の手話講座で覚えた手話を交えて「人生は挑戦することが大切です」を発表。コンテストを終えて「周囲の支えでコンテストを無事に終えることができ、感謝の気持ちでいっぱい。これからも長島でたくさんの経験を積んでいきたい」と話しました。